

(4-2) 貧困の連鎖を断ち切るための支援

◆取組実績

●生きるチカラまなびサポート事業

「キャリア教育」や「性・生教育」を支援する「生きるチカラまなびサポーター」の登録制度を構築し、学校の要請に応じて講師を派遣する。

- ・登録講師 19名 32講座
- ・小中学校への講師派遣 22回
- ・保護者、教職員向けシンポジウム、研修会 1回
- ・運営アドバイザー会議 3回



【プログラミング授業】



【赤ちゃんともふれあう授業】

【令和元年度業績目標】

・事業終了時のアンケートにて、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問について否定的な回答をした受講者の割合

目標：8.0%未満 ⇒ 実績：3.8%

目標達成



受講者の意見

〔小学生〕（プログラミングを通して）たくさん失敗して、せいこうした時のたっせいかんがありました。

〔中学生〕相手のことを考えて行動することがすごく大切だと気付いた。色んな人のたくさんの思いがあって、私がここにいるのだなと思いました。

(5-1) 人々の多様性を尊重し、認めあえる環境づくり

◆取組実績

- ・ 地域人権講座：4回
- ・ 広報誌「ふれあい」の発行：1回
- ・ 人権啓発事業（映画会）：1回





【令和元年度業績目標】

- ・ 事業の参加者アンケートでの理解度

目標：90%以上 ⇒ 実績：92.1%

目標達成



地域人権講座受講者の意見

- ・ 自分たちが出来る範囲で出来る事をやればいいとの言葉が心に残った。
- ・ 相手を思いやれる自分になれたらいいと思いました。

(5-2) 外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用 地域住民との交流促進

◆取組実績

- フェイスブックで「やさしい日本語」による情報発信：167件／年
- ツイッターで「やさしい日本語」による情報発信：随時
- やさしい日本語による新しいコミュニティづくり事業
「やさしい日本語から、つながろう」を継続実施



- 区民まつり「やさしい日本語体験ブース：多文化カフェ」設置：年1回
地域企業、地域団体、区役所が共同運営（約100名が体験）
- 区民による多文化共生のまちづくりシンポジウム等の開催支援
(6,11,2月)

【3 | 年度業績目標】

- ・ 区役所による情報発信が外国人に対しても配慮されていると回答した区民の割合

目標：30%以上 ⇒ 54.6%

目標達成



多文化カフェ参加者の感想

- ・ 自分の日本語のレベルでは不安だったけど、ゆっくりで、簡単な言葉で、いろんな人と会話できてよかった
- ・ 普段の日本語ではなく、相手に伝えたいと思って、ゆっくり話すと、思っていた以上に、伝わってうれしかった
- ・ 自分が、いろんな国の人と、話しができるとは思わなかったので新鮮な感覚だった

令和元年度 具体的取組の目標達成状況 (くらしの安全・安心部会関連)

具体的な取組	目標達成状況
地域自主防災力の強化	達成
災害発生時の的確な対応	達成
空き家や老朽住宅等への対策	一部未達成
犯罪の防止	達成
事故の防止	達成
すべての世代の健康づくり	未達成
身近な見守り・支えあい	達成
「地域包括ケアシステム」の構築に向けた体制の整備	(未測定)
真に支援が必要な方への確実な対応	達成
貧困の連鎖を断ち切るための支援	達成
人々の多様性を尊重し、認めあえる環境づくり	達成
外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用・地域住民との交流促進	達成

目標の達成状況を踏まえた評価結果の総括

くらしの安全・安心部会関連

- ・ 安心・安全なまちづくりに向けた取組については、ほぼ計画どおり実施することができたものの、一部において目標を達成できなかったものもあり、新たな課題への対応も含め、さらなる取組の強化が必要。
- ・ 防災・防犯については、区民の方の意識は高く、防災訓練などの取組は着実に進められているものの、地域での助け合いによる具体的な活動が機能していると感じている区民の割合が低下しており、活動を支える人材の不足などが課題となっている。また、新型コロナ渦における災害時の避難所開設など、新たな課題への対応も求められることから、今後、必要な対策を検討していく。
- ・ 地域福祉については、今後も多種多様な支援が必要な要介護・認知症等の高齢者の増加が見込まれることから、こうした方への地域の身近な支え合いが進むよう、引き続き支援するとともに、こどもから高齢者まで住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、相談・支援・サービスを一体的に提供できるネットワークの整備を進めていく。

